

「桜色②～生徒会活動・スプリングコンサート編～」

校長 江口 満

新たな第一歩!!



【前号からの続き】私は、この「桜色」の染料をつくる工房があると聞き、家内と、福岡県筑前の小京都と呼ばれる秋月を訪ねてみたことがあります。

その工房では、桜の満開の素晴らしさに魅せられ、桜だけで染めた「桜色」をつくろうとしたといひます。最初は、桜の花びらをたくさん集めて、それを釜に入れたが、「桜色」は出てきません。

どうしたら桜から桜色が出せるのだろうか。様々な桜の木、樹皮、小枝、花芽、葉、紅葉に至るまで、材料と染め方を研究しました。色々な試行錯誤の結果、やっと花びらのピンク色に染まろうとする「力」を取り出すことに成功したそうです。その秘伝とは、桜の花びらではなく、桜の花が咲く前の小枝にあったのです。

まず、桜の花が咲く前の小枝を集め、小さく刻む。それを鍋に入れ、40日間、炊いたり冷ましたりする。それから出てくるエキスを、さらに約3ヶ月ほどかけて熟成させると、鮮やかな「桜色」の原液が誕生する。工房の方が、そう語ってくれました。

桜の花は、花の部分だけで「桜色」を作っているのではなく、桜の木全体で淡くて優しい「桜色」を、長い長い時間をかけて作っていたのです。そのほんの一部が、花に「桜色」として現れていたにすぎないのです。桜は、寒風に耐え、ときには雪をいただきながら、着々と力を蓄えてきた結果としての美しさなのです。(次頁に続く)



【上】4月、春の暖かな陽光に映える本校体育館からカリリアに通じる渡り廊下沿いの桜並木

【下】本校に隣接する猿田下池の公園の桜並木



生徒会任命式



【左】4月16日(火)生徒会任命式で決意表明する新生徒会執行部の皆さん

【右】令和6年4月3日に発生した台湾東部沖地震の復興に向け、5月7日から4日間募金活動をする生徒会執行部・ボランティア部。皆様のご協力により、総額14,462円を集めることができました。ご協力有り難うございました。





体育祭結団式

生徒の皆さん、この高校生活は、桜の木に置きかえることができます。燦々と輝く太陽の季節や冬の凍りつく季節を耐えながら、身体も心も鍛える。太陽の光を求めて枝葉を豊かに広く伸ばす。そして、そして三年後の春、成長という「桜色」の花を咲かせ、自分が決めた進路に向かって光り輝きます。

4月、宿泊研修やスプリングコンサートに挑んだ生徒の皆さん。5月10日(金)体育祭結団式から先生方と生徒の皆さんがスクラムを組み、一丸となり、5月25日(土)の体育祭に向け新たな挑戦を始めます。

令和6年度 仰星学園高等学校 スプリングコンサート



【左上】5月10日(金)体育祭結団式で各色の団長・副団長に任命状を手渡す学校長
【上】団長・副団長(左から赤団・青団・黄団)【下】4月24日(水)スプリングコンサート



総司会



吹奏楽部



演劇同好会



ダンス部



声優部



ゴスペルクワイア部



バスケ部



eスポーツ部



軽音楽部



バドミントン部



美術部



よさこい・ソーラン部